

NZ地震被災地へ支援の輪

AMDAの2人、現地へ

クライストチャーチの被災地に向けて、国際医療NGO「AMDA」(岡山市)の2人が24日、JR岡山駅を出発した。

「岡山市」と、調整員でスリランカ出身のオーストラリア人ヴァイラヴァーグ・ニッティヤーナタンさん(42)で、25日にAMDAニュージールランド支部の医師や留学中の日本人保健師らと合流。病院の

緊急医療センターで情報収集しながら、避難所や被災者宅を巡回する。

2人はこの日午前、県庁で10リと20リ貯水用タンク計200個を受け取った。被災地に持参し、約2リ飲料水を被災者に配る。石岡さんは、チリ大地震やブラジルの豪雨被災地でも活動したといいい、「まだ現地は混乱している。被災者の不安を少しでも



ニュージーランド地震の被災地に向けて出発するAMDAの石岡未和さん(左)と、ヴァイラヴァーグ・ニッティヤーナタンさん=JR岡山駅

取り除きたい」と話した。

募金は、郵便振替(01250・2・40709)、口

座名「特定非営利活動法人アムダ」。通信欄に「ニュージーランド地震」と記入する。

AMDAボランティアセンター(086・252・7700)。
(塩野浩子)